

## (4-1) 真に支援が必要な方への確実な対応

区予算額 12,913千円

### ◆取組の進捗状況

- 複合的な課題を持つ困難事例への対応  
各関係機関が一堂に集まり支援方法を検討  
⇒「総合的な支援調整の場（つながる場）」を開催：4回（9月末時点）
- 虐待防止に向けた啓発や、関係機関・各種支援専門機関との連携を強化  
⇒「要保護児童対策地域協議会」：6回（9月末時点）  
「虐待防止研修会・啓発（児童）」：11月、2月予定
- 「くらしの相談窓口いくの」の運営
  - ・しごとや生活に関する各種相談・支援
  - ・関係機関の情報共有や支援体制の検討



## (4-1) 真に支援が必要な方への確実な対応

### ●こども地域包括ケアシステムの構築 【新規】

- ・子育て支援CSWを区社協に配置

すでに地域で機能している見守りネットワークにおける「こどもの見守り」機能を強化

- ・情報共有サイト「**キントーン (kintone)**」の活用

子育て支援に関わる行政機関・関係団体・NPOなどが個人情報を除く支援や相談に関する情報交換

利用登録者数 73名 (8月末時点)

⇒ 課題を抱える家庭やこどもが  
関係機関や団体等につながり、  
必要な支援を受けられる状態を  
めざす。

### ●子育て相談体制の強化

家庭児童相談員1名増員

まちぐるみでこどもを育てるためにつなろう！  
「生野区こども地域包括ケアシステム」



大阪市生野区役所

情報共有サイト キントーンログイン画面

## (4-1) 真に支援が必要な方への確実な対応

- 里親制度の普及啓発

→ さとおやパネル展示(9月～10月開催)



- こどもサポートネット事業（こどもの貧困対策関連）

学校と区役所が連携し、こどもと子育て世代が抱える課題に対して総合的支援を効果的に行う。

スクリーニング会議 40回開催（9月末時点）



### 【業績目標】

- ・ 重大虐待ゼロの状態を維持する。
- ・ こども虐待や高齢者虐待などの専門家、支援機関、学校や保育園が参加したワークショップ（連絡会）アンケート結果で、理解が深まったという意見が75%以上

## (4-1) 真に支援が必要な方への確実な対応

### ◆課題など

少子高齢化、核家族化が進む中、高齢者、障がい者、こども、ひとり親家庭、生活困窮者など**支援が必要な方に必要なサービスが確実に届く、取りこぼしのない支援**が求められている。



### 【今後の方向性】

支援を必要とするすべての人々が、一人ひとり社会とつながりを  
持ちながら健やかに暮らせることができるよう取り組んでいく。

## (4-2) 貧困の連鎖を断ち切るための支援

※こども未来部会関連：(2-2)次世代の学校づくり（「生野の教育」の実現）と同取組

### ◆取組の進捗状況

区予算額 3,143千円

### ●生きるチカラを育む課外授業「みらい塾」

#### ※こどもの貧困対策関連の取組

当該中学校に在籍する生徒（学年は問わないとする）を対象に、民間事業者等を活用した大学生等による悩み相談と課外授業を行うことで、**基礎学力の向上と自己肯定感の醸成**をはかり、「**自ら学ぶ力**」の定着をめざす。

- ・大池中学校（毎週月・木曜日）
- ・東生野中学校（毎週火・金曜日）
- ・田島中学校（毎週火・金曜日）
- ・新生野中学校（毎週火・木曜日）

英語・数学・国語

①18:30～19:40

②19:45～20:55

※時間帯の①と②はどちらかを選択

※新型コロナウイルス感染拡大に伴う学校休業により開校時期の遅れ（5月→8月）



## (4-2) 貧困の連鎖を断ち切るための支援

### 【業績目標】

参加者に対し、事業実施前と後にアンケートを行い、「**1日にどれくらいの時間、家庭学習をしていますか**」という設問について、「**30分より少ない**」「**全くしない**」と答える生徒の割合を半減させる。

### ◆課題など

- ・受講者が定員の半数を下回る学校がある。

大池中：9／30人      東生野中：20／30人

田島中：10／20人      新生野中：10／30人

### 【今後の方向性】

- ・新型コロナウイルス感染症拡大の影響により学校の学習の遅れが推測される中、当該塾事業が学習習慣の定着や学力の向上につながる場として、より一層活用されるよう、学校や生徒・保護者に向けたアプローチを行っていく。

## (4-2) 貧困の連鎖を断ち切るための支援

※こども未来部会関連：(2-2)次世代の学校づくり（「生野の教育」の実現）と同取組

### ◆取組の進捗状況

区予算額 1,589千円

### ●生きるチカラまなびサポート事業 ※こどもの貧困対策関連の取組

- ・派遣回数 3回（8月末時点）
- ・今後の派遣予定 33回（年度末見込）
- ・アドバイザー会議 2回（年度末見込）
- ・登録講師 22名（8月末時点）

#### 【業績目標】

- ・事業終了時のアンケートにて、「人の役に立つ人間になりたいと思いますか」という設問について否定的な回答をした受講者の割合：8.0%未満



【プログラミング授業】



【経営者による講義】





# (5-1) 人々の人権を互いに尊重し認め合える環境づくり

## ◆取組の進捗状況

区予算額 1,404千円

人権啓発推進員と連携して、高齢者や障がい者、外国籍住民などの**様々な人権課題への理解を深める**取組みを進める。

- ①地域人権講座の開催 4回(9月～11月開催)
- ②人権啓発事業(人権週間講演会)の開催 1回(12月開催予定)
- ③人権啓発事業(子ども向け映画会)の開催 1回(3月開催予定)

(なお、8月に開催を予定していた映画会は、新型コロナウイルス感染症対策により中止)

※補完事業として、区事業(ガチメン等)において、啓発物(クリアファイル)の配布等を行う予定。

- ④広報紙「ふれ愛」の発行(3月発行予定)



地域人権講座



広報紙「ふれ愛」

# (5-1) 人々の人権を互いに尊重し認め合える環境づくり

## 【業績目標】

各事業（①～②）の参加者アンケート：理解度90%以上

## ◆課題など

従来の人権尊重・人権擁護の取組に加え、LGBTやヘイトスピーチなど多様な人権課題への理解促進のために、偏見や差別意識をなくす取組が必要である。

また、近年増加するニューカマーを含めた全ての外国籍住民の方に対して、適切でわかりやすい情報発信、情報提供が不十分である。

## 【今後の方向性】

引き続き、人権啓発推進員と連携し、区民に多様な人権課題の理解を深めていただくための取組みを進める。また、外国籍住民の方に対しては、やさしい日本語や多言語に対応するなど適切な情報発信・情報提供を行う。

なお、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点により中止となった映画会の補完事業として、区事業（ガチメン等）での、啓発物（クリアファイル）の配布等を行う予定。

## (5-2) 外国籍住民とのコミュニケーション媒体の活用・地域住民との交流促進

区予算額 495千円

### ◆取組の進捗状況

- ・ 防災や基本生活情報の「やさしい日本語」による情報発信（通年）
- ・ 広報紙の「多言語翻訳版」をアプリで配信開始（8月号より）
- ・ 区内高校・産業会等、外国人コミュニティとの連携強化(通年)
  - 「やさしい日本語」講座開催
- ・ 特別定額給付金申請書の書き方について
  - 「やさしい日本語」で書き方等区ブログで情報発信
  - YouTubeで「多言語」による書き方動画作成  
(市民局・国際交流センター・生野区の共作)
- ・ 豊かなコミュニティのプラットフォームづくりに向けた支援
  - 「やさしい日本語」協力店舗・協力者募集(通年)
  - 「やさしい日本語」缶バッジ・ステッカーの配布(通年)



## (5-2) 外国籍住民とのコミュニケーション媒体の活用・地域住民との交流促進

### 【業績目標】

区役所による情報発信が外国人に対しても配慮されていると回答した区民の割合：令和2年度までに55%以上＊

### ◆課題など

外国籍住民のための防災情報や生活情報が必ずしも十分に伝達できておらず、また、外国籍住民が地域住民の一員として地域コミュニティに参加できる機会が少ないため、引き続き、取組が必要

### 【今後の方向性】

在日韓国・朝鮮人をはじめとして、区内60カ国を超える外国人が地域住民の一員として安心して暮らせるためのコミュニティづくりを引き続き支援

- ・多文化共生に向けた話し合いの場づくりの支援
- ・「やさしい日本語」を介したコミュニティづくり 等